



教育委員会 Information



9月24日に開催しました定例教育委員会についてお知らせします。

第9回定例会報告

9月24日開催

▼議事

- ・高島市立学校の学校薬剤師の委嘱について
- ・欠員による補充の人事案件が提案され、適格性を審議し、承認しました。

▼協議

- ・平成20年度全国学力・学習状況調査の結果および今後の対応について（非公開）

市全体の調査結果の概要が報告されました。課題となったことについて、今後各学校が取り組んでいきます。



- ・マキノ地域の適正な学校規模を考える懇話会の意見報告について

7月から8月にかけて懇話会が開催されました。全国的な少子化の傾向の中で、マキノ地域の小学校では小規模化が一段と進んでいく見込みです。

この現状を踏まえ、「4小学校の統廃合が必要な時期にきている」という意見が多数である」との報告を受けました。今後、マキノ地域の子どもにとってよりよい小学校のあり方を関係者や関係機関等と協議していくこととしました。

▼報告

- ・学校給食費負担金の決算状況（平成19年度）および収納率向上対策について

学校給食費負担金の収納率は、年々上がっています。しかし、一部の保護者には、未納があることから、対策として、学校と協力しながら徴収に努める

取り組みの報告がありました。

- ・第21回全国スポーツ・レクリエーション祭について

今年度は滋賀県で開催されることから、市内を会場とする競技について説明がありました。

◎トランポリン大会

月日 10月19日(日)、20日(月)

場所 安曇川総合体育館

◎トレッキング大会

月日 10月20日(月)

場所 中央分水嶺

高島トレイル

(石田川ダム登山口、武奈ヶ嶽、水坂峠)

◎マキノ健康栗マラソン大会

月日 10月19日(日)

場所 マキノビックランド

- ・人事異動(平成20年9月1日付)

安曇川学校給食センター業務の一部民間委託に伴う調理師の異動の報告がありました。

▼学習会(提言協議)

これまでの協議で、学校の先生の「もっと子どもを受け止める時間・向き合う時間がほしい」という声や子育ての課題を抱える保護者の増加などが、大きな

課題として浮き彫りになっています。

このため、地域・家庭が学校教育を応援し、また、学校を通じても子育ての課題解決への取り組みができるという相互作用のある計画を考えていきます。

◎協議テーマ

『学校応援実践方策』

- ・授業、部活動、遊び時間等にボランティアを活用していく。
- ・地域を巻き込んで学校経営会議的な組織をつくっていく。
- ・先生個人への負担を軽減し、組織で効果的に対応できるようにしていく。

『家庭応援実践方策』

- ・教育と福祉が連携して家庭支援を行い、子どもに課題が生じにくいような状況にしてい

く。

- ・子どもの発達や家庭環境を理解し、継続的に適切な支援ができるようにしていく。
- ・保護者が、互いに学びあえ、理解できる場をつくっていく。

などの内容について協議していきます。

十のちひらたき

リハビリテーションチーム専門

リハビリテーション室では、病気・事故などにより、身体に障がいを受けられた方に対し、身体の機能改善を図り、日常生活への復帰を目標に取り組んでいます。

メンバーは、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・事務員の計16人のもと、入院・外来患者および在宅の利用者に対し実施しています。

◆理学療法

運動療法のもと、平行棒、歩行器、松葉杖等を使用しての歩行練習、手足の関節可動域練習・筋力強化練習、麻痺に対する機能回復練習等を行い、患者さんの機能回復・動作改善に努めています。



◆作業療法

その人らしい生活が送れるように食事・排泄等の身の回り動作、家事等の生活関連動作の獲得を目的にリハビリテーションを行っています。また自助具(動作を助ける為の道具)の考案・作成・福祉用具の検討を行っています。



◆言語聴覚療法

今年4月から、常勤職員のもと、話すことが困難な言語障害、食べ、飲みこむことが困難な嚥下障



害の方に対し、評価を行い、リハビリテーションを実施しています。

◆訪問リハビリ

在宅利用者に対しては、ご家庭に訪問し、家庭における日常生活の自立支援と、身体の機能維持・改善に必要な支援・指導を行っています。

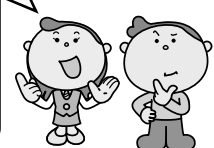


湖西広域リハビリテーション支援センターでは、地域におけるリハビリテーション実施機関への支援、及び、利用者さんに携わる従事者への支援・援助を行っています。

公立高島総合病院整備計画

Q&A

新病院はどういった病院を目指すの？



①「災害拠点病院」としての機能充実

地震等災害発生時においても診療が継続して実施できる建物構造(免震構造建物)とし、被災者等を収容するため玄関ホールや待合室に医療力又設備を完備します。また、敷地内に患者搬送を行うためのヘリポートを設置します。

②救急医療機能の充実

検査部門、放射線部門および手術部との動線を短縮し、迅速な対応を行います。

③健診・疾病予防機能の充実

特定健診、人間ドック、子宮がん、乳がんおよび一般検診の受診者の増加に対応するため、現在の南病棟を健診棟として改修します。

④主要4疾病への対応強化

新生物(がん)、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病への対応強化を図り、市民の遠方医療機関への受診解消に努めます。

(病院整備課)